

1. はじめに

日本の電力需給は依然厳しい状況にあり、電源整備や省エネルギーに対するお客様ニーズは高い状況が続くと予想される。JFE エンジニアリングではこのようなお客様のニーズに応えるため、コジェネ・ガスエンジンなどの分散型発電や、太陽光・風力・地熱・バイオマスなどの再生可能エネルギー発電の商品・技術を保有し、地域特性に合ったソリューションを提供している。

2012年7月より導入された再生可能エネルギー固定価格買取制度を受け、当社は太陽光発電による電力供給事業に参入した。JFE グループ遊休地(6地区)および道東地区の計7地区 托

2. JFE エンジニアリングにおける事業計画の概要

表1に当社電力供給事業の概要を示す。JFE グループ遊休地のうち、当社が保有する三重県津市、静岡県静岡市、宮城県多賀城市および千葉県館山市の4地区、およびJFE スチールが保有する岡山県倉敷市および栃木県芳賀町(図2)の2地区の合計6地区を活用する。また、日照・気温など、全国的に見ても太陽光発電に有利な条件が揃っている北海道釧路地区にて、地元地権者の協力を得て発電事業を行なう。

当社は、これらの7地区トータルで約40MWの発電所を建設し、各地区の電力会社に全量を売電する予定である。全地区で予想される年間の総発電量は約3900万kWhとなり、これは一般家庭の約10700世帯分の年間電力消費量に相当する。合せて年間18500t程度のCO₂削減効果を期待できる。2013年8月の三重県津地区での発電開始を皮切りに2014年10月までに全地区で順次発電所を稼働させる。

さらに、2013 年度以降も電力供給事業を拡大し、最終的にはトータル約 80 MW 規模の事業運用を計画して